

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 健福-08 戦傷病者戦没者遺族等援護事業 <input type="checkbox"/> 支援部門						
主管課	生活福祉課	関連課					
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	戦没者の遺族に対する援護活動を通じて、戦没者追悼式など戦没者等への追悼の意を表するとともに、平和を祈念する。						
人口等のデータ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	人口	177,204人	177,161人	176,669人			
	世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯			
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	702	754	873			
	(国・県)	101	108	96			
	(負担金等)	0	0	0			
	(一般財源)	601	646	777			
	人員配置数	0.4	0.4	0.6			
	人件費(千円)	3,580	3,613	5,527			
事務事業運営経費	協働のパートナー	無	無	無			
	総事業費(千円)	4,282	4,367	6,400			
	市民1人当りの経費(円)	24	25	36			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
		目標値					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進		実績値					

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	
戦傷病者戦没者遺族等援護事業	702千円	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	戦没者のご冥福と恒久平和を祈念するため、戦没者追悼式を開催するとともに、戦没者等の遺族への特別弔慰金等の請求受付事務を行う。				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	送迎バスの運行も含め、戦没者追悼式への高齢遺族の参加しやすい環境づくりについて、改善点の検証を引き続き行っていく必要がある。
課題解決のための取組	戦没者追悼式開催にあたり、参加者の交通の利便性及び参加しやすい規模等に配慮し、鎌倉生涯学習センターを会場に選定した。
未解決の課題	高齢化の進む戦没者遺族について、より参加しやすい環境づくりを検討していく必要がある。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了
		②妥当性 ○		戦没者遺族のさらなる高齢化に対応できるよう、参加しやすい環境づくりを目指していく。	↓
	③有効性 ○				B
	④公平性 ○				曾根 健治

## (2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果
戦傷病者戦没者 遺族等援護事業	10	戦没者追悼式参列者記念品	150	150	■適切 □見直し余地あり
		戦没者追悼式祭壇等設営業務委託料	58	58	■適切 □見直し余地あり
		戦没者追悼式献花及び祭壇盛花設置業務委託料	231	231	■適切 □見直し余地あり
		鎌倉市遺族会補助金	180	180	■適切 □見直し余地あり
					□適切 □見直し余地あり
					□適切 □見直し余地あり
					□適切 □見直し余地あり
					□適切 □見直し余地あり
					□適切 □見直し余地あり